《競技上の注意》

**１　ルールについて**

　　本大会は、現行の日本卓球ル－ルに準じて行います。

**２　試合球について**

 ニッタク、ＴＳＰ（ＣＰボール）、バタフライ（Ａボール）のホワイトボールを使用します。メーカーについては各試合トスで決定してください。

**３　審判について**

最初の第１試合の審判は本部進行係で指定しますが、それ以降の試合はすべて敗者審判です。なおベスト８決定戦からは審判委員の先生が主審をしますので、選手のみなさんには副審をしてもらいます。

**４　違反サービス、バッドマナーについて**

　　１回目は警告レットとし、２回目以降失点とします。

**５　タイムアウト制について**

ベスト８決定戦からタイムアウトを適用します。

 「タイムアウト」は選手か監督、アドバイザーが要求することができます。

**６　ゲーム間について**

　　ゲームとゲームの間の時間は1分間です。試合進行の妨げにならないよう厳守してください。**各コートにタイマーを準備していますので、審判は計測してください。**

**７　試合方法について**

試合はトーナメントで行います。試合の結果は、勝者が本部に報告にきてください。ベスト８決定戦より選手１名にアドバイザー１名がベンチ入りすることができます。この場合のアドバイザーとは、監督あるいは当該校の教員・部活動指導員もしくは校長の承認を得た外部指導者のいずれかです。なお、試合中の交代は認めませんが、移動はしてもかまいません。また、選手がコートを離れて他のコートのアドバイザーのところへ行くことは禁止です。

**８　コロナ対応について**

ラケット交換は行わず、相手にラケットを見せるだけにしてください。

　　チェンジエンドは行いません。

　　試合後の握手は行いません。

１試合ごとに試合球を新しいものと交換します。

　　競技中のトラブルについて、審判で判断が難しい場合は試合を中断して本部席まで報告に来てください。

《進行上の注意》

個人戦はタイムテーブルにしたがって行いますが、時間はあくまでも目安の時間です。その時間よりも試合が早く終わった場合、ベスト８決定戦以降をのぞき、次の試合を開始して下さい。また、自分の試合順をプログラムで確認し、自分の試合の１つ前の試合が始まったら、コートの後ろのベンチに待機しておいてください。

第１試合のみ開始を放送によって一斉に行いますが、その後の試合は本部からの放送は行いませんので、両選手、審判がそろい次第はじめてください。本部からはコート変更がある場合のみ放送します。

試合終了後、勝った選手がバインダーと試合球を審判から受け取り、本部まで持ってきて報告してください。選手が筆記用具で記入する必要はありません。負けた選手は次の試合の審判をお願いしますのでコートをはなれないでください。次の試合の審判が、昼食休憩・コート整備をはさむ場合は、放送で呼ばれるまで、２階席で待機しておいてください。

**開会式は第１試合の選手・審判がコートに入った状態で行います。**第１試合の審判のみ組み合わせの番号を四角で囲んでいる人に指定されています。練習終了後、コートを確認し、本部まで試合球とタイマーを取りに来てください。